

令和 7 年（2025 年）に向けた（具体的）対応方針の決定について

<医療機関 2025 プラン（有床診療所）>

令和 2 年 1 月 30 日

目 次

・ 宇野医院本院	1
・ 桜田内科医院	4
・ 阿部クリニック	7
・ 広田眼科	10
・ 英クリニック	13
・ 岸整形外科	16
・ 高杉レディースクリニック	19
・ 津永産婦人科	22
・ 浅上内科胃腸科医院	25
・ 徳本歯科医院	28
・ 河村循環器内科	31
・ 市川医院	34
・ 中山医院	37
・ 竹内医院	40
・ 篠山医院	43

(別添)

医療法人 宇野医院本院

医療機関2025プラン

平成30年 9月 策定

【基本情報】

医療機関名	医療法人 宇野医院本院
開設主体	同上
所在地	山口県周南市櫛ヶ浜501番地
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	19床 一般病床 回復期
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	19床 一般病床 回復期
診療科目	内科・呼吸器内科・消化器内科・循環器内科・小児科・リハビリテーション科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	13名 1名 6名 3名 3名

1

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

有床診療所基本料 2

平均在院日数 21.6日 病床稼働率 27.8%

特徴 4機能のうち回復期か中心

② 自施設の課題

地域の人口の減少と共に、医療需要の減少、近隣の医療機関との機能の重複に加え医療スタッフの確保困難等、いつまで現状体制を維持できるかが主たる課題である。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

高齢者の独居が多い地域の為、急性期後の回復、自立の為に当院の役割を再検討
又、二次病院では対応しきれない慢性期患者の対応も検討する必要がある。

② 今後持つべき病床機能

現状維持

③ その他見直すべき点

年々、病床利用率が低下している今、今後の需要を推測しながら現病床の維持を考えている。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期	19床		19床
慢性期			
休棟等			
(合計)	19床		19床
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

③ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

④ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--

桜田内科医院

医療機関2025プラン

平成30年10月 策定

【基本情報】

医療機関名	桜田内科医院
開設主体	個人
所在地	周南市原宿町4-26
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	19床 一般病床 19床 回復期 19床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	19床 一般病床 19床 回復期 19床
診療科目	内科 循環器科 消化器内科 神経科 放射線科 小児科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	16名 2名 6名 6名 2名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

届出入院基本料 有床診療所入院基本料 5

眼科術後入院受け入れ、内視鏡的ポリープ切除後入院等

② 自施設の課題

回復期を主として継続していくこと

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

回復期に専念し受け入れすること

② 今後持つべき病床機能

③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期	19		19
慢性期			
休棟等			
(合計)	19		19
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--

阿部クリニック 医療機関2025プラン

平成30年10月 策定

【基本情報】

医療機関名	阿部クリニック
開設主体	医療法人創黎会
所在地	下松市大字河内1048-1
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	19床 有床診療所 急性期
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	19床 有床診療所 急性期
診療科目	麻酔科、内科、外科、神経内科、心療内科、精神科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	18名 1名 14名 0名 3名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

届出入院基本料 有床診療所入院基本料 1

平均在院日数 28.8日、 病床稼働率 73.5%

特徴 4機能のうち急性期が中心

② 自施設の課題

地域の拠点病院からの早期退院患者の在宅・介護施設への受け渡しをする際に、当院退院後の介護施設等の不足により受け入れを断る場合がある。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

今まで通り急性期医療から終末期医療まで担う

③ 今後持つべき病床機能

今まで通り急性期医療から終末期医療まで担う

③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	19		19
回復期			
慢性期			
休棟等			
(合計)	19		19
介護保険施設へ移行予定	—		0
うち、介護医療院	—		0

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

② 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

③ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

【4. その他】(自由記載)

広田眼科 医療機関2025プラン

平成30年 10月 策定

【基本情報】

医療機関名	医療法人 広田眼科
開設主体	医療法人
所在地	山口県周南市新町 1-25-1
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	18 床 一般病床 急性期
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	18 床 一般病床 急性期
診療科目	眼科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	40 2 名 14 名 8 名 16 名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

有床診療所

平均在院日数 3日

② 自施設の課題

当直スタッフの確保

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

白内障、緑内障、網膜剥離、糖尿病網膜症など、急性期医療の提供体制の確保

② 今後持つべき病床機能

現在の急性期病棟の維持

③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	18		17
回復期			
慢性期			
休棟等			
(合計)	18		17
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

③ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

④ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

【4. その他】(自由記載)

英クリニック 医療機関2025プラン

平成30年 10月 策定

【基本情報】

医療機関名	医療法人 英クリニック
開設主体	医療法人 英クリニック
所在地	下松市大手町2-4-11
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	18床 一般病床 18床 急性期 18床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	18床 一般病床 18床 急性期 18床
診療科目	整形外科、産婦人科、リハビリテーション科、リウマチ科、 内科、泌尿器科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	21名 2名 13名 0名 6名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

届出入院基本料 有床診療所入院基本料 1

平均在院日数 40日

病床稼働率 60%

平成30年2月より休床していたが、平成30年9月より再開。

② 自施設の課題

看護職員、介護職員等の獲得が難しくなっている。

地域での整形外科としての病床の必要性はあると現時点では思っているが、いつまで必要性が続くか不明。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①~②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

痛み、骨折で医療を必要とする人への対応

② 今後持つべき病床機能

急性期病床の維持はしたいが、需要がいつまであるかにより変更もありうる。

③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	18		18
回復期			
慢性期			
休棟等			
(合計)	18		18
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

③ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

④ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--

医療法人岸整形外科 医療機関2025プラン

平成30年10月 策定

【基本情報】

医療機関名	医療法人岸整形外科
開設主体	医療法人岸整形外科
所在地	山口県周南市福川中市町11-21
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	17床 一般
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	休床中
診療科目	整形外科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	1人 看護師3人(看護助手3人) 2人

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

休床中

② 自施設の課題

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

② 今後持つべき病床機能

③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期			
休棟等	17		17
(合計)	17		17
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標
	今後予定、未定	

③ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

④ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--

高杉レディースクリニック

医療機関2025プラン

平成30年 10月 策定

【基本情報】

医療機関名	医療法人 高杉レディースクリニック
開設主体	医療法人 高杉レディースクリニック
所在地	山口県周南市政所一丁目18-15
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	10床 一般病床 10床 急性期 10床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	10床 一般病床10床 急性期 10床
診療科目	産婦人科 麻酔科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	1名 7名 2名(助産師) 3名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

分娩中心に医療

② 自施設の課題

分娩数減少により、他領域の医療も考慮中（分娩中止も考慮中）

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

地域の医療

② 今後持つべき病床機能

かかりつけ医？

③ その他見直すべき点

特になし

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	10 (400人)		10 (400人)
回復期			
慢性期			
休棟等			
(合計)	10 (400人)		10 (400人)
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

③ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

詳細は不明

④ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--

津永産婦人科 医療機関2025プラン

平成30年 10月 策定

【基本情報】

医療機関名	津永産婦人科
開設主体	個人
所在地	山口県周南市川端町2-30
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	9床 一般病床 9床 急性期 9床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	9床 一般病床 9床 急性期 9床
診療科目	産婦人科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	17名 2名 8名 5名 2名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

届出入院基本料 有床診療所入院基本料4、夜間緊急体制確保加算、医師配置加算1

夜間看護配置加算2、有床診療所一般病床初期加算

特徴 周南市において分娩を取り扱う有床診療所の一つで、婦人科疾患もオープンシステム徳山医師会病院を利用し、年間約40件近くの手術実績がある。

② 自施設の課題

・周南圏域の人口減少に伴い、分娩数が減少傾向にあり、現状の体制を維持すべきか否か、将来、検討が必要

・晩婚化・高齢化に伴い、不妊治療および婦人科疾患へのさらなる対応が求められており、医療体制の整備が必要

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

- ・分娩を取扱う施設が減少してきており、地域における周産期医療の一翼を担う体制を維持していく
- ・少子高齢化・晩婚化などに伴う医療需要の変化に対応する

② 今後持つべき病床機能

・現在の周産期急性期病棟は、一定程度維持する必要があるが、分娩数の減少に伴い規模の適正化を検討する

③ その他見直すべき点

- ・特になし

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	9床		9床
回復期			
慢性期			
休棟等			
(合計)	9床		9床
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

③ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

④ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--

浅上内科胃腸科医院

医療機関2025プラン

平成30年 10月 策定

【基本情報】

医療機関名	浅上内科胃腸科医院
開設主体	個人
所在地	下松市望町4丁目13番5号
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	7床 一般病床 7床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	休床中
診療科目	内科 消化器内科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	7名 1名 2名 4名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

外来診療のみ

② 自施設の課題

現状維持

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

基礎疾患・危険因子の管理等初期診療の実施

② 今後持つべき病床機能

無

③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期			
休棟等	7		7
(合計)	7		7
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

③ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

④ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--

徳本歯科医院

医療機関2025プラン

平成30年 9月 策定

【基本情報】

医療機関名	徳本歯科医院
開設主体	個人
所在地	周南市呼坂747-12
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	2床 一般病床 急性期
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	2床 一般病床 急性期
診療科目	歯科口腔外科 矯正歯科 小児歯科 歯科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	5名 2名 2名 1名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

◆スタッフが不足しており、数年来、入院を受け入れていない。

② 自施設の課題

◆なし。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

◆歯科診療所として外来診療を重点的に行う。

② 今後持つべき病床機能

◆当面は、急性期の患者を、短期間、緊急避難的に受け入れる程度の病床機能を維持する。

◆2025年までに病棟を閉鎖する方向で検討中である。

③ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期			
休棟等	2		2
(合計)	2		2
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

③ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

④ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--

河村循環器神経内科 医療機関2025プラン

平成30年10月 策定

【基本情報】

医療機関名	河村循環器神経内科
開設主体	医療法人やよい
所在地	山口県光市三井6丁目18番1号
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	4床(19床のうち15床を介護医療院に転換 H30.6.1) 医療療養病床 4床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	4床 同上
診療科目	内科、小児科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	1 8 3 3

【1. 現状と課題】

⑤ 自施設の現状

介護医療院15床、医療療養病床4床が稼働中

⑥ 自施設の課題

6年後の国の方針がわからないので、課題と言っても難しい。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

④ 地域において今後担うべき役割

より地域に密着した医療を目指す。

⑤ 今後持つべき病床機能

残りの医療療養病床を介護医療院に転換するかどうかは考慮中だが、国の方針が不明瞭のため
当院の方向性も不明である。

⑥ その他見直すべき点

国の方針がこの20年間変化しすぎるので、医療現場の対応は難しいものがある。
過去の有床診療所に対する国の対応は極端な減少政策の為に不信感がある。このままでは
地域包括ケアは成り立たないと思う。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期	4		4
休棟等			
(合計)	4		4
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		15

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

⑦ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

⑧ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

自院の将来の計画を立てるためにも、とにかく確固たる医療行政の方針を示して欲しい。

市川医院

医療機関2025プラン

平成30年11月 策定

【基本情報】

医療機関名	医療法人社団 光仁会 市川医院
開設主体	医療法人社団 光仁会
所在地	光市中央3丁目2番26号
許可病床数	19床
(病床の種別)	一般病床 1床 療養病床 18床
(病床機能別)	急性期 1床 回復期 18床
稼働病床数	19床
(病床の種別)	一般病床 1床 療養病床 18床
(病床機能別)	急性期 1床 回復期 18床
診療科目	内科 循環器内科 消化器内科 外科 リハビリテーション科
職員数	
・ 医師	2名
・ 看護職員	19名
・ 専門職	3名
・ 事務職員	9名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

有床診療所入院基本料2を算定

有床診療所療養病床入院基本料

② 自施設の課題

現状の体制を維持するべきか否か検討が必要

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

地域における回復期機能の一翼を担う

② 今後持つべき病床機能

検討中

③ その他見直すべき点

特にありません

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	(1)		(1)
回復期	19 (18)		19 (18)
慢性期			
休棟等			
(合計)	19		19
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

③ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

④ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--

医療法人 中山医院

医療機関2025プラン

平成30年11月 策定

【基本情報】

医療機関名	医療法人 中山医院
開設主体	医療法人
所在地	下松市瑞穂町1丁目3-12
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	19床 一般病床 急性期 19床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	19床 一般病床 急性期 19床
診療科目	泌尿器科 皮膚科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	14名 1名 8名 1名 4名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

有床診療所入院基本料 1

平均在院日数 2. 1日 1日平均入院患者数0. 3人

② 自施設の課題

泌尿器科、皮膚科の急性期医療の需要が減少しており、現状の体制を維持する事が困難

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

回復期機能の一翼を担う

② 今後持つべき病床機能

回復期機能を提供する病床の整備について検討する

③ その他見直すべき点

病床利用率が低下しており、最適な病床規模について検討する。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期	19		(5)
回復期			19 (14)
慢性期			
休棟等			
(合計)	19		19
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

③ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

④ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--

竹内医院

医療機関2025プラン

平成30年 10月 策定

【基本情報】

医療機関名	医療法人 竹内医院
開設主体	医療法人 竹内医院
所在地	周南市大字戸田 2783 番地
許可病床数	15 床
(病床の種別)	一般病床 15 床
(病床機能別)	回復期 15 床
稼働病床数	15 床
(病床の種別)	一般病床 15 床
(病床機能別)	回復期 15 床
診療科目	内科 外科
職員数	12 名
・ 医師	1 名
・ 看護職員	7 名
・ 専門職	0 名
・ 事務職員	4 名

【1. 現状と課題】

① 自施設の現状

届出入院基本料 有床診療所入院基本料 5 夜間看護配置加算 2

② 自施設の課題

現院長から次期院長への世代交代をこの3～5年の内に予定している。

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

① 地域において今後担うべき役割

外来診療と在宅診療の二本立の体制を維持する。

医療の末端部分を担当し、患者さんに一番近い存在であること。

② 今後持つべき病床機能

病院を退院して、すぐに自宅復帰が不可能な方の受け皿としての入院。

その後の自宅復帰を促す。

③ その他見直すべき点

地域での他医院、他病院との連携強化。

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期	15		15
慢性期			
休棟等			
(合計)	15		15
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

③ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

④ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--

医療法人創世会篠山医院

医療機関2025プラン

平成30年11月 策定

【基本情報】

医療機関名	医療法人創世会篠山医院
開設主体	医療法人創世会
所在地	下松市生野屋西4-3-13
許可病床数 (病床の種別) (病床機能別)	16床 療養病床16床 慢性：16床
稼働病床数 (病床の種別) (病床機能別)	16床 療養病床 16床 慢性期 16床
診療科目	内科、小児科、リハビリテーション科
職員数 ・ 医師 ・ 看護職員 ・ 専門職 ・ 事務職員	15人 1人 6人 6人 2人

【1. 現状と課題】

⑨ 自施設の現状

医療療養病床4床、介護療養病床12床

⑩ 自施設の課題

【2. 今後の方針】 ※ 1. ①～②を踏まえた、具体的な方針について記載

⑦ 地域において今後担うべき役割

⑧ 今後持つべき病床機能

現状維持

⑨ その他見直すべき点

【3. 具体的な計画】 ※ 2. ①～③を踏まえた具体的な計画について記載

① 4機能ごとの病床のあり方について

<今後の方針>

	現在 (平成30年度病床機能報告)		将来 (2025年度)
高度急性期		→	
急性期			
回復期			
慢性期	16		16
休棟等			
(合計)	16		16
介護保険施設へ移行予定	—		
うち、介護医療院	—		

<年次スケジュール> ※今後のスケジュールがある場合に記入

年度	取組内容	到達目標

⑪ 診療科の見直しについて ※検討の上、見直さない場合には、記載は不要

--

⑫ その他の数値目標について ※該当項目がある場合に記入

--

【4. その他】(自由記載)

--